

2019年度 「いじめ防止基本方針」

[平成31年2月 第4回 改訂]

1 いじめの防止のための基本認識

「児童等は、いじめを絶対に行ってはならない。」

(1) 基礎となる法律：いじめ防止対策推進法

[目的]

第一条 この法律は、いじめが、いじめを受けた児童等の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、児童等の尊厳を保持するため、いじめの防止等のための対策に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体等の責務を明らかにし、並びにいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針の策定について定めるとともに、いじめの防止等のための対策の基本となる事項を定めることにより、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする。

[定義]

第二条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であつて、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

[基本理念]

第三条 いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関係する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

2 いじめの防止等のための対策は、全ての児童等がいじめを行わず、及び他の児童等に対して行われるいじめを認識しながら放置することがないようにするため、いじめが児童等の心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する児童等の理解を深めることを旨として行われなければならない。

3 いじめの防止等のための対策は、いじめを受けた児童等の生命及び心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

[学校及び学校の教職員の責務]

第八条 学校及び学校の教職員は、基本理念にのっとり、当該学校に在籍する児童等の保護者、地域住民、児童相談所その他の関係者との連携を図りつつ、学校全体でいじめの防止及び早期発見に取り組むとともに、当該学校に在籍する児童等がいじめを受けていると思われるときは、適切かつ迅速にこれに対処する責務を有する。

[保護者の責務等]

第九条 保護者は、子の教育について第一義的責務を有するものであつて、その保護する児童等がいじめを行うことがないように、当該児童等に対し、規範意識を養うための指導その他の必要な指導を行うよう努めるものとする。

2 保護者は、その保護する児童等がいじめを受けた場合には、適切に当該児童等がいじめから保護するものとする。

3 保護者は、国、地方公共団体、学校の設置者及びその設置する学校が講ずるいじめの防止等のための措置に協力するよう努めるものとする。

4 第一項の規定は、家庭教育の自主性が尊重されるべきことに変更を加えるものと解してはならず、また、前三項の規定は、いじめの防止等に関する学校の設置者及びその設置する学校の責任を軽減するものと解してはならない。

(2) いじめの状況

状況を下記のように区分はするが、全て**重要事案**として扱うものとする。

軽 度	いじめの状況を早期に発見でき、保護者が学校に対応を任せている状況。
中 度	いじめの状況が進んでいる中で、保護者が学校の対応に対して納得できず、外部に対応を求めている状況。
重大事態 (緊急)	「生命・心身又は財産に重大な被害が生じた疑い」(児童生徒が自殺を企図した場合等)や「いじめにより相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑い」(年間30日を目安。一定期間連続して欠席しているような場合などは、迅速に調査に着手) ○重大事態を把握する端緒 事実関係が確定した段階でなく、「疑い」が生じた段階で調査を開始する。 また、被害児童生徒や保護者から、いじめられて重大事態に至ったという申立があったときは、重大事態が発生したものとして報告・調査にあたる。

2 いじめの防止等のための取組

(1) いじめの未然防止のための取組

- ① いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。
 - 「ハートフル集会」(いじめ防止集会)の実施及び各学級の「ハートフルコーナー」の設置
 - 「マナーアップ集会」実施による基本的な生活習慣の見直し改善
 - 「生徒指導特別支援会議」における児童一人一人の共通理解及び同一歩調での指導
 - 学校全体が組織的に取り組む体制の強化
 - 児童の居場所づくり・絆づくりを意識した学級づくりの強化
- ② 分かる授業、対話的な授業を目指した校内研修の推進と日常の授業の改善に努める。
 - 授業のUD化を通して、全ての児童が参加・活躍できる授業の創造
 - 話し合い、伝え合う授業の展開による児童相互理解の推進
 - 学習の約束等の徹底
- ③ 特別支援教育に関する全職員の共通理解を推進する。
 - 発達障害及び発達障害の疑いのある児童への対応に関する職員研修の実施
- ④ 友人関係・集団作り・社会性を育成する行事・活動の推進を図る。
 - 当番活動、行事、体験活動、縦割り班活動の計画的な実践(自己有用感の育成)
 - 学校生活のふり返りの実施(PDCAサイクルの活用)
 - SST, SGE, 対人関係ゲーム等の継続実施
- ⑤ 思いやりの心を育てる道徳教育の推進
- ⑥ 定期的に児童に対して具体的ないじめ防止指導を実施する。

【 児童的な指導の内容 】

- ・いじめは犯罪。絶対に許されないこと。
- ・いじめと感じたら、誰かにすぐに相談すること。
- ・いじめを見て見ぬふりするのはいじめであること。
- ・間に入って(第三者になって)、無責任に言いふらすこともいじめであること。
[例]「○○ちゃんが、△△ちゃんの悪口を言ってたよ！」
- ・言葉によるいじめの具体的な指導
[例] あだ名、無視、ひそひそ話、バイ菌扱い、容姿をバカにするなど。

- ⑦ スマホ・ケータイ安全教室を実施し、トラブルの未然防止に努める。

(2) いじめの早期発見のための取組

- ① 学校評価の評価項目に位置付ける。
学校いじめ防止基本方針に、年間を通じたいじめの早期発見・いじめ事案への対処の在り方、校内研修等の取組を位置付けし、**学校評価の評価項目に入れて実施する。**
- ② 職員研修により早期発見に努める。(「生徒指導支援資料5 いじめに備える」の活用)
「いじめはどの学校でも、どの児童にも起こりうるものである。」という基本認識に立ち、全ての教員が児童の様子を見守り日常的な観察を丁寧に行うことにより、児童の小さな変化を見逃さない感覚を身に付ける。
- ③ 職員終会等の場において気付いたことを共有し、より大勢の目で当該児童を見守る。

【 児童の小さなサインの例 】

- ・健康観察で元気がない。
- ・休み時間ぼつんと一人でいる。
- ・教師に何か言いたそうだが言えない。
- ・生活が乱れてくる。

- ④ アンケート調査を定期的に行い、教育相談を実施し、児童の悩みや人間関係を把握する。
○児童学校生活アンケート **※記名式** …年5回(1学期2回, 2学期2回, 3学期1回)
○保護者アンケート **※無記名式** …年2回

(3) いじめの早期解決のための取組

- ① いじめの「解消」についての共通理解を行う。

[定義]

被害者に対する心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットも含む)が少なくとも**3か月を目安にやんでいること**。また、**被害者が心身の苦痛を感じていないこと**。この**2つの要件が満たされている必要がある**。

- ② それぞれの立場にあった適切な対応を行う。
○いじめを受けた児童 … 教育相談等で悩み等を聞き、児童に安心感を持たせる。
○いじめている児童 … 情報収集を綿密に行い、事実を確認をした上で毅然とした態度で指導にあたる。
○傍観者の児童 … いじめているのと同様であるということを指導する。
- ③ 組織での取組及び家庭、地域、関係機関と連携した取組を行う。
○学級担任だけで抱えこむことなく、「いじめ対策委員会」を招集し、学校長以下全ての教員を対象として対応を協議し、具体的な対応策を考え、実践する。
○いじめの問題が起きたときは、家庭との連携を密にし、学校側の取組について情報を伝えるとともに、家庭での様子や友達関係について情報を集めて指導に生かすようにする。
○心の傷を癒やすために、養護教諭やスクールカウンセラーと連携を図る。
○事案により、各種団体や専門家と協力して解決にあたる組織を確立する。
○「24時間子供SOSダイヤル」、「いじめ・体罰解消サポートセンター」、「子どもホットライン」等の相談窓口があることを児童及び保護者に伝える。

「24時間子供SOSダイヤル」 0120-0-78310

「いじめ・体罰解消サポートセンター」(県南地区) 029-823-6770

「子どもホットライン」 029-221-8181

3 年間計画（予定）

～ 2019年度～

4・5月	<ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ防止基本方針」の全職員による共通理解 ※第1回職員会議 ○ホームページや便りを通して、保護者への周知と協力の呼びかけ ○ハートフル集会（いじめ防止集会）の実施 ○各学級の「ハートフルコーナー」の設置 ○第1回 生徒指導・特別支援会議 ※年度当初の配慮を要する児童の共通理解 ○児童学校生活アンケート（第1回）※いじめ防止指導，教育相談を含む。
6月	○マナーアップ集会（第1回） … マナーアップに向けた取組の発表
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○児童学校生活アンケート（第2回）※いじめ防止指導，教育相談を含む。 ○保護者アンケート（第1回）
夏季休業	<ul style="list-style-type: none"> ○職員研修 <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒指導支援資料5 いじめに備える」を活用した研修 ・授業のUD化に向けた研修 ・発達障害及び発達障害の疑いのある児童への対応に関する研修 <p style="text-align: right;">他</p>
9月	○「いじめ防止等の標語」づくり
10月	○児童学校生活アンケート（第3回）※いじめ防止指導，教育相談を含む。
11月	○マナーアップ集会（第2回）… マナーアップの状況報告
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○児童学校生活アンケート（第4回）※いじめ防止指導，教育相談を含む。 ○保護者アンケート（第2回）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○児童学校生活アンケート（第5回）※いじめ防止指導，教育相談を含む。 ○スマホ・ケータイ安全教室 ※高学年児童及び保護者対象で実施 ○保護者アンケート（第2回）
<p>【いじめを含む問題行動についての情報交換の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎週木曜日 … 職員終会 ○毎月第1火曜日 … 生徒指導・特別支援会議 ○ケース会議（不定期：必要に応じて実施） <p>【いじめを含む問題行動の集約】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時系列による一括集約（生徒指導主事作成） ○翌月9日までに … 毎月1日～末日（1か月間）の 事案「いじめ認知件数及び詳細」を教育委員会へ報告 	

4 いじめの問題に取り組むための校内組織

